<令和３年度　運営推進会議における評価>

【事業所概要】

法人名	有限会社　在宅ナースの会	事業所名	看護小規模多機能型居宅介護　ふくふく能見台
所在地	（〒　236　－　0053　） 横浜市金沢区能見台通８－８　能見台駅前ビル３階		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

・住み慣れた地域で最期までその人らしい生活を送ることができるよう支援して参ります。
・ご利用者様のニーズに対して、24 時間 365 日、臨機応変・迅速・柔軟なサービスで在宅生活の支援を行います。
・医療ニーズのある方はもちろん、様々な状態・病状の方たちの在宅療養の支援とともに、介護者・ご家族を含めた総合的な支援を行います。
・事業所内の各職種間の連携とご家族・主治医・医療機関・地域包括支援センター・地域の自治会・民生委員・各事業所の方々・町内の方々との連携を密に行い、信頼していただける地域密着型サービスを見ざし、地域包括ケアの一翼を担ってまいります。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦　２０２１　年　１１月　２日	従業者等自己評価 実施人数	（　１５　）人　　※管理者を含む

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦　２０２１年　１２月　１５日	出席人数（合計）	（　８　）人　　※自事業所職員を含む
出席者（内訳）	□自事業所職員（４人）　□市町村職員（０人）　□地域包括支援センター職員（１人）　□地域住民の代表者（１人） □利用者（１人）　□利用者の家族（１人）　□知見を有する者（０人）　□その他（０人）		

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
Ⅰ．事業運営の評価 （評価項目 1～10）		① 全職員で話し合い月間目標を設定し日常業務の地位様問題点を改善し質の向上を図る。 ② 各職種間の円滑なコミュニケーションにより情報共有の強化を図る。 ③ 職員間の協力により休憩時間の確保、希望する公休日の取得を考慮し働きやすい環境を整備する。 ④ 防災委員が中心となりあらゆる災害を想定した訓練と事業所に適した具体的な対策を検討していく。	① 全職員で日々の問題点を話し合い、月間目標を設定した。 ② 朝のミーティング時に情報伝達をし、ミーティングノートも活用し情報共有を行った。 ③ 担当表に休憩時間を明記、職員間でもお互いに声をかけ休憩時間の確保を徹底した。 ④ 防災委員を中心に年２回の防災訓練の実施、備蓄品の定期点検を行った。	① 職員一人一人が問題点を意識し業務にあたることができた。 ・担当表に月間目標を掲げることで意識づけになった。 ② 毎朝のミーティングにて情報共有をし、その場に参加していない職員はミーティングノートを活用し確認のサインを徹底した。 ③ 職員間で声を掛けあうことで休憩時間の確保ができた。 ④ 地域の方、利用者の方の協力を得た防災訓練を行い、具体的な対応を共有することができた。
Ⅱ.サービス提供等の評価	1.利用者等の特性･変化に応じた専門的なサービス提供（評価項目 11～27）	① 利用者、家族の個別性に柔軟に対応できるよう、連絡を密にとり、安心できるサービスの提供を行う。 ② 社内研修、外部研修に積極的に参加し個々がスキルアップし専門的で質の高いサービス提供を行う。	① 利用者、家族の状況変化の把握に努め、迅速に対応できるように関わりをもった。 ② 積極的に研修に参加し、参加できなかった職員への伝達講習、研修資料の確認において知識の向上に努めた。	① 定期的に訪問することで生活状況などの把握が継続的にできた。 ・利用者の状態の変化があった場合も統一したサービスの提供ができるように迅速に情報共有している。 ② 研修内容を共有することで、質の高いサービス提供につなげることができた。

	２．多機関・多職種との連携（評価項目 28～31）	① 関係機関との連携をとり全職員が地域の中での役割の理解を深める。 ② 緊急時の対応について全職員が情報を共有し対応できる体制の構築。	① 退院前のカンファレンスへの参加、往診時の立ち会い等にて情報共有に努めた。 ② 緊急時の対応についてはミーティングノートに記載し情報共有した。	① カンファレンス等への参加により、関係機関との関わりを持つことができた。 ② 緊急時の対応について、事前に往診医と相談し情報共有している。 ・緊急連絡先のファイルを作成し、即対応できるように準備している。
	３．誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 32～41）	①地域への啓蒙活動を積極的に行えるよう、職員の意識向上と看護小規模多機能型居宅介護事業所としての役割の理解を深める。 ③ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の特性を活かし専門的なサービス提供が行える体制を維持し積極的に受け入れる。	① 看護小規模多機能型居宅介護としての役割を意識して地域活動への参加を心がけた。 ・地域の病院から依頼があり、看多機について説明する研修に参加した。 ② 喀痰吸引の研修への参加、社内研修において知識、技術の向上に努め医療ニーズの高い利用者を多く受け入れている。 ・登録者以外で地域から訪問看護の依頼があり受け入れている。	① コロナ禍において、地域活動への参加は不十分であった。 ・地域の病院の集まりにおいて、看多機のサービスについて説明する機会があり積極的に参加することができた。 ② 可能な限り研修に参加することができた。伝達講習等で質の向上、統一したサービス提供を目指す。 ・外部からの依頼に対応、処置のため訪問を行っている。
Ⅲ．結果評価（評価項目 42～44）		① 医療ニーズの高い利用者が家族と住み慣れた地域で安心して生活を維持できるよう室の高いサービスの提供が行える体制の維持。	① 自宅で困った事や急変時は 24 時間連絡がとれる体制を整えている。 ・必要時は訪問にて対応している。	① 利用者・家族の想いに寄り添い安心感を得られるように支援を行っている。 ・サービスの提供により在宅生活の維持につながっている。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
Ⅰ．事業運営の評価 （評価項目 1～10）		① 月間目標を設定したことで、職員一人一人が問題点を意識し日々の業務に携わることができた。 ② ミーティング、ミーティングノートの活用をすることで職員間での情報共有を徹底することができた。 ③ 職員間で声を掛け合い、状況に応じた休憩時間の確保に努めることができた。 ④ 防災訓練への意識が高まり積極的に参加につながった。	○職員間で業務内容の改善点について月間目標を設定し質の向上を図る。 ○各職種間での情報共有・情報提供が円滑に行える環境づくりの継続。 ○休憩時間の確保、意見交換しやすい環境づくりの継続。 ○防災委員を中心とし事業所に適した対策検討と実施。
Ⅱ.サービス提供等の評価	1.利用者等の特性･変化に応じた専門的なサービス提供（評価項目 11～27）	① 利用者・家族の状況に応じ柔軟で迅速な対応ができた。 ② 積極的な研修参加、また伝達講習により職員の知識の向上につながった。	○利用者・家族の状況を把握し個別性のあるサービス提供の実施。 ○社内研修・外部研修への積極的な参加と伝達講習により統一した質の高いサービス提供を行う。
	２．多機関・多職種との連携（評価項目 28～31）	① 関係機関と積極的に関わりをもち情報共有することができた。 ② 緊急連絡先ファイルを作成し対応できるように準備した。	○地域の医療機関、地域ケアプラザ、各事業所との関係の構築。 ○緊急時、職員が統一した対応ができる体制づくりの継続。
	3.誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 32～41）	①積極的に地域活動への参加を心がけた。 ②研修への参加、伝達講習にて職員間で統一した質の高いサービス提供につながった。	○看護小規模多機能型居宅介護事業所としての役割を理解し医療ニーズの高い利用者を積極的に受け入れていく。 ○地域の方に看護小規模多機能型居宅介護事業所を理解してもらうために、積極的に地域活動へ参加していく。
Ⅲ．結果評価 （評価項目 42～44）		① 24 時間連絡がとれ、必要時訪問するなど利用者・家族が安心して在宅生活を維持できるよう体制を整えた。	○在宅生活を安心して維持できるよう質の高いサービス支援の維持

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 評価表［事業所自己評価・運営推進会議における評価］

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
Ⅰ　事業運営の評価［適切な事業運営］							
（1）理念等の明確化							
① 看護小規模多機能型居宅介護の特徴を踏まえた理念等の明確化とその実践							
1	○ サービスに求められる「①医療ニーズの高い利用者の在宅生活の継続支援」、「②在宅での看取りの支援」、「③生活機能の維持回復」、「④家族の負担軽減」、「⑤地域包括ケアへの貢献」を含む、独自の理念等を掲げている	7	8			・運営推進会議における報告より看多機として役割が発揮できている。 ・利用者・家族の状況に合わせた在宅支援ができている。	・日常より、生活機能の維持・回復を心がけ居心地の良い場所つくりを理念に掲げている。
		[具体的な状況・取組内容] ・看多機としての理念等を理解し、サービス提供を行っている。 ・本人・家族に寄り添い、要望に応じるよう支援を行っている。 ・在宅での家族の負担が軽減できるよう支援している。 ・担当表に毎回表示している。 ・医療ニーズに対応している。 ・終末期の受け入れ、看取りをしている。 ・日常生活動作の補助で能力の維持、向上。					

<table>
<tr><th rowspan="2">番号</th><th rowspan="2">評価項目</th><th colspan="4">事業所自己評価</th><th rowspan="2">運営推進会議における評価
コメント記入欄</th><th rowspan="2">評価の視点・
評価にあたっての補足</th></tr>
<tr><th>よくできている</th><th>おおよそできている</th><th>あまりできていない</th><th>全くできていない</th></tr>
<tr><td>2</td><td>○ サービスの特徴および事業所の理念等について、職員がその内容を理解し、実践している</td><td>6</td><td>9</td><td></td><td></td><td>・事業所がいつも明るく笑顔のある温かい雰囲気である。</td><td>・毎朝ミーティング時に、リーダーが理念を読み上げ職員間で意識づけている。</td></tr>
<tr><td colspan="5">[具体的な状況・取組内容]
・居心地の良い環境づくりに心がけている。
・ミーティング時に理念の共有をしている。
・看多機能としての役割を理解している。
・サービスの質を常に意識している。
・新人研修においてサービスについて学びがあった。</td></tr>
<tr><td colspan="6">（2）人材の育成</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="6">① 専門技術の向上のための取組</td><td></td></tr>
<tr><td>3</td><td>○ 職員との話し合いなどを通じて、各職員の中長期的な育成計画などを作成している</td><td>1</td><td>１４</td><td></td><td></td><td>・継続でお願いしたい。</td><td>・年間計画に取り組まれている。</td></tr>
<tr><td colspan="5">[具体的な状況・取組内容]
・定期的に研修している。
・病態から個々のケアについての知識不足は、話し合いにて計画に反映させている。</td></tr>
</table>

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
4	○ 法人内外の研修を受ける機会を育成計画等に基づいて確保するなど、職員の専門技術の向上のための日常業務以外での機会を確保している	4	11			・コロナ禍においても、必要時応じて研修を実施している。 ・医療ニーズの高い利用者が増えているため今後も技術向上に努めてほしい。	・喀痰吸引研修など必要に応じて研修への参加可能。
		[具体的な状況・取組内容] ・業務として研修に参加できている。 ・胃瘻、喀痰吸引等研修を受講し、知識の向上をはかっている。					
② 介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保							
5	○ 介護職・看護職・介護支援専門員の間で、職員が相互に情報を共有する機会が、確保されている	6	9			・迅速に対応するためには情報共有は大切なので、継続して行ってほしい。	・毎朝ミーティングを実施している。 ・ヒヤリハット、事故報告の検討も実施している。
		[具体的な状況・取組内容] ・毎朝のミーティング時間を活用し、情報の共有を行い、その場に参加していない職員はミーティングノートにて確認し共有している。 ・利用者の状態変化時は、迅速に情報共有ができている。 ・情報共有の漏れがないようにミーティングノートには閲覧者のサインをしている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
(3) 組織体制の構築							
① 運営推進会議で得られた意見等の反映							
6	○ 運営推進会議で得られた要望、助言等を、サービスの提供等に反映させている	3	１２			・今後も地域連携・情報共有の継続をおねがいしたい。	・議事録にて職員がいつでも閲覧できるようにしている。
		[具体的な状況・取組内容] ・朝のミーティング時、ミーティングノートにて共有している。 ・会議後の翌日にミーティングにおいて情報を発信し反映している。 ・利用者、家族からの要望、意見に対応している。					
② 職員が安心して働くことができる就業環境の整備							
7	○ 職員が、安心して働くことができる就業環境の整備に努めている	1	１４			・休憩をしっかりとることは大事なので、今後も継続して行ってほしい。	・状況に応じてシフトの変更に柔軟に対応している。
		[具体的な状況・取組内容] ・時短業務など、家庭と両立できるように調整など柔軟な対応ができている。 ・休みをしっかり取ることができている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
		・相談しやすい環境や意見交換しやすい意識をもってもらうように働きかけた。 ・職員間で声を掛け合い休憩時間を調整					
（4）情報提供・共有のための基盤整備							
① 利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備							
8	○ 利用者等の情報について、随時更新を行うとともに、必要に応じて職員間で迅速に共有できるよう工夫されている	5	１０			・職員間での情報共有は継続してお願いしたい。	・朝のミーティング、ミーティングノートにて情報共有している。
		[具体的な状況・取組内容] ・状態や状況変化にサービス内容の変更等、随時行っている。（緊急時は口頭での申し送りを実施） ・朝のミーティングやミーティングノートにて情報共有している。					
（5）安全管理の徹底							
① 各種の事故に対する安全管理							
9	○ サービス提供に係る利用者等および職員の安全確保のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている	4	１１			・ヒヤリハットが多くあがることで大きな事故が未然に防げるので、意識していってほしい。 ・送迎は時間より、安全面を優先してほしい。	・ヒヤリハット、事故報告については、職員間で対策について話し合いを行っている。
		[具体的な状況・取組内容] ・送迎時の交通安全に努める。 ・研修を行いしっかりと対策している。 ・管理者会議において対策等の話し合いが行われている。 ・ヒヤリハット報告の内容を周知、検討し事故防止策につなげている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・個別の注意事項をミーティングノートで共有している。					
② 災害等の緊急時の体制の構築							
10	○ 災害などの緊急時においても、サービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関の間で、具体的な対応方針が共有されている	3	12			・備蓄品のリストや防災訓練について家族への報告があると安心する。 ・近年、様々な災害が発生しているので、地域に合わせた防災対策は大事である。	・定期的に防災訓練を実施している。 ・防災委員により備蓄品の管理が行われている。
		[具体的な状況・取組内容] ・災害時の備品を備蓄し定期的にチェックを行っている。 ・災害時の対策を契約時に利用者、家族へ伝えている。 ・防災委員を中心に共有されている。 ・防災訓練にて職員、利用者間で具体的な対応が共有されている。					
Ⅱ サービス提供等の評価							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
（1）利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
① 利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からの一体的なアセスメントの実施							
11	○ 在宅時の利用者の生活状況や家族等介護者の状況等を含む、利用者等の 24 時間の暮らし全体に着目したアセ	8	7			・家族の介護力を把握し支援することが大事。今後も包括的な支援をお願いしたい。	・24 時間臨機応変に対応している。
		[具体的な状況・取組内容] ・契約時、または暮らし全体に着目しアセスメントしている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
	スメントが行われている	・ケアマネジャーから在宅時の利用者の生活状況等について情報提供があり、それらに基づいた計画の事項がされている。					
12	○ 介護職と看護職がそれぞれの視点から実施したアセスメントの結果が、両職種の間で共有されている	6	9			・他職種間での連携は大切なので継続してほしい。	・朝のミーティング時に情報共有している。
		[具体的な状況・取組内容] ・ミーティングの中でそれぞれの視点で情報共有や意見交換が行われている。					
② 利用者等の「尊厳の保持と自己実現の達成」を重視した計画の作成							
13	○ 家族を含む利用者等の考えを把握するとともに、その目標の達成に向けた計画が作成されている	7	8			・今後も利用者、家族の介護力を踏まえた支援をお願いしたい。	・定期的な訪問、家族と密に連絡をとることで要望、希望の把握に努めている。
		[具体的な状況・取組内容] ・利用者、家族の考え等を把握して計画を立てている。 ・利用者の看護力や生活状況の情報収集に努め、不足しているケアについて検討し計画立案がされている。					
14	○ 利用者の有する能力を最大限に活かした、「心身の機能の維持回復」「生活機能の維持又は向上」を目指すことを重視した計画が作成されている	7	8			・利用者、家族の介護力を把握し、できる事を維持できるような支援をお願いしたい。	・日常生活の中で機能維持・向上につながる支援をこころがけている。
		[具体的な状況・取組内容] ・生活機能の維持を重視している。 ・利用者の身体能力の把握に努め、向上・維持ができるよう計画している。 ・利用者が自立した生活を営めるように支援を行っている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
③ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画の作成							
15	○ 利用者の今後の状況変化の予測と、リスク管理を踏まえた計画が作成されている	6	9			・リスク管理においては今後も継続してほしい。	・状態の把握に努め、主治医へ報告、相談を行い、事前に指示を仰いでいる。
		[具体的な状況・取組内容] ・状態変化の把握に努め、スタッフ間での迅速な情報共有に努めている。 ・予後、予測を常に立て、即対応できるように話し合いを行っている。					
（2）利用者等の状況変化への迅速な対応とケアマネジメントの実践							
① 継続したアセスメントを通じた、利用者等の状況変化の早期把握と計画への反映							
16	○ サービス提供を通じた継続的なアセスメントにより、利用者等の状況変化を早期に把握し、計画への適宜反映が行われている	4	１１			・迅速に対応できるように情報共有は継続してほしい。	・迅速に対応できるように職員間で情報共有している。
		[具体的な状況・取組内容] ・状況の変化を把握、また家族とも情報を共有し対応できるように心がけている。 ・家族との関わりを日々とり、心身の状態を確認している。 ・ミーティングなどで報告し、対応などを検討、計画へ適宜反映が行われてい					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		る。 ・迅速な対応ができている。					
② 居宅への訪問を含む、利用者等の暮らし全体に着目したアセスメントの実施と計画への反映							
17	○ 通い・泊まりの利用に過度に偏らないよう、適時適切に利用者宅を訪問することで、家族等を含めた居宅での生活状況の変化を継続的に把握している	4	１１			・継続して実施してほしい。	・訪問により生活状況、家族の状況を把握することができている。
		[具体的な状況・取組内容] ・定期的な訪問により、生活状況などの把握が継続的にできている。					
③ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等に関する関係多職種との情報共有							
18	○ 利用者等の状況変化や目標の達成状況等について、主治医など、事業所内外を含む関係多職種と情報が共有されている	5	１０			・他職種との連携は必要なので、今後も継続してほしい。	・状態変化については、適宜主治医、関係他職種へ報告を行っている。
		[具体的な状況・取組内容] ・状況変化時は主治医、関係他職種へ報告している。 ・指示内容に変更あれば、ミーティング等にて情報共有している。					
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供							
19	○ 介護職と看護職のそれぞれの専門性を最大限に活かしながら、柔軟な役割分担が	3	１２			・統一したケアが実施できるように今後も継続していってほしい。	・業務担当にて各自の役割を理解し状況に応じて協力し合い業務を遂行している。
		[具体的な状況・取組内容] ・医療ニーズの高い利用者に対しては、					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
	行われている	看護の指導指示を仰ぎ統一した支援を行っている。 ・統一したケアが行えるように情報共有している。 ・他職種間で意見交換し役割を確認。					
20	○ 利用者等の状況について、介護職と看護職が互いに情報を共有し対応策を検討するなど、両職種間の連携が行われている	3	12			・連携がとれていると思う。	・不明な点やわからないことは声を出して確認し合える環境づくりを心がけている。
		[具体的な状況・取組内容] ・ミーティングやミーティングノートなどで情報共有をし、連携を図っている。					
② 看護職から介護職への情報提供および提案							
21	○ 看護職から介護職に対して、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、情報提供や提案等を行っている	2	13			・今後も継続をお願いしたい。	・新しい情報は、即ミーティングノート記載し共有できるようにしている。
		[具体的な状況・取組内容] ・利用者の状態に合わせた対応の情報提供等を共有している。 ・利用者の状態に変化があった時にその都度情報提供をしている。 ・ミーティングやミーティングノートにて情報共有されているが、日々の状況は変化していくため、密に看護職より介護職へ情報提供を心がけている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
(4)利用者等との情報及び意識の共有							
① 利用者等に対するサービスの趣旨及び特徴等についての情報提供							
22	○ サービスの趣旨および特徴等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	6	9			・利用方法や料金について具体例などがあると分かりやすい。	・パンフレットや事業所内の見学などで説明を行っている。
		[具体的な状況・取組内容] ・ケアマネジャーがわかりやすく説明し理解を得ている。 ・分からない事があった時は再度説明を行っている。 ・利用方法を提示し細かくフォローされている。					
② 利用者等への「在宅での療養生活」に係る指導・説明							
23	○ 作成した計画の内容や在宅での療養生活の継続に向けて留意すべき点等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	6	9			・今後も継続をお願いしたい。	・時間をかけて説明を行っている。
		[具体的な状況・取組内容] ・説明し理解を得てからサインをいただいている。 ・分かりやすい言葉で伝えている。 ・在宅での生活が負担とならないような対応がされている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
24	○ 利用者等が行う医療処置や医療機器の取り扱い方法、家族等が行うケアの提供方法等について、分かりやすく説明し、利用者等の理解を得ている	6	9			・個別的にパンフレットが用意されているとよい。 ・在宅での指導は安心できるので継続してお願いしたい。	・安心して介護ができるように実践を交えて説明を行っている。
		[具体的な状況・取組内容] ・医療処置、手技など解りやすいようにパンフレットを作成し自宅でも不安なく介護できるように努めている。 ・解りやすく一緒に実践するなどの指導を行っている。 ・必要時、訪問し自宅でのケアのやり方について説明を行っている。					
③ 重度化した場合や終末期における対応方針の、利用者等との相談と共有							
25	○ 利用者本人（意思の決定・表示ができない場合は家族等）の希望や意向を把握し、サービスの提供に反映している	7	8			・継続を希望。	・利用者、家族の希望、意向に沿った支援ができるように関わりをもっている。
		[具体的な状況・取組内容] ・利用者、家族の希望や意向を踏まえサービス提供を行っている。 ・ケアマネジャーが利用者、家族と話し合いミーティングノートにて報告、検					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
		討し柔軟に対応している。					
26	○ 在宅生活の継続の可否を検討すべき状況を予め想定し、その際の対応方針等について、利用者等と相談・共有することができている	7	8			・家族との連携は大切なので、今後も継続してほしい。	・即対応できるよう、主治医と連携をとっている。
		[具体的な状況・取組内容] ・状況を想定した対応について共有している。 ・現在の状態だけでなく、将来を想定した上での提案をしている。 ・在宅で起こりうるリスクについて家族との情報交換に努め、その際の対応について指導を行っている。					
27	○ 終末期ケアにおいて、利用者等に適切な時期を見計らって、予後および死までの経過を丁寧に説明し、説明した内容や利用者等の意向等を記録として残している	8	7			・家族だけでなく、スタッフのケアもお願いしたい。	・主治医と連携を取り、必要時説明を行っている。
		[具体的な状況・取組内容] ・主治医を含め話し合いの場を設け、経過を丁寧に説明し記録として残している。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
2. 多機関・多職種との連携							
（1）病院・施設等との連携による円滑で切れ目のないケアの提供							
① 病院・施設等との連携や情報共有等による、在宅生活への円滑な移行							
28	○ 病院・施設等との連携・情報共有等により、病院・施設等からの、利用者の円滑な在宅生活への移行を支援している	8	7			・今後も継続をお願いしたい。	・安心して在宅生活が送れるよう事前に情報収集している。
		[具体的な状況・取組内容] ・退院前にカンファレンスに参加し、在宅生活への意向のための情報共有が行われている。 ・病院からのサマリー等にて情報共有している。					
② 入院・入所の可能性がある利用者についての、主治医等との対応方針の共有							
29	○ すべての利用者について、緊急時の対応方針等を、主治医等と相談・共有することができている	6	9			・今後も継続をお願いしたい。	・指示書に対して、毎月報告書を提出し連携を図っている。
		[具体的な状況・取組内容] ・アセスメント、契約時に意向をしっかりと聞き、主治医との共有ができている。 ・往診に立ち会い情報共有を密にしている。 ・緊急時の対応について主治医に相談					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
		し、決定事項については共有されている。					
③ 地域の医療機関等との連携による、急変時・休日夜間等に対応可能な体制の構築							
30	○ 地域の医療機関等との連携により、休日夜間等を含めて、すべての利用者について、急変時に即座に対応が可能な体制が構築されている	6	9			・今後も継続希望。	・緊急時迅速に対応できるように話し合いを行っている。
		[具体的な状況・取組内容] ・24 時間緊急時の受け入れ体制をとっている。 ・主治医と事前に受け入れ先等の体制構築ができている。 ・緊急連絡先ファイルの作成。					
（2）多職種との連携体制の構築							
① 運営推進会議等における、利用者のために必要となる包括的なサポートについての、多職種による検討							
31	○ 運営推進会議等において、利用者のために必要と考えられる包括的なサポートについて、民生委員・地域包括支援センター・市区町村職員等への情報提供や提案が行われている	3	１２			・コロナ禍にて難しいこともあるが、継続して連携は必要。	・運営推進会議にて情報共有している。
		[具体的な状況・取組内容] ・運営推進会議において情報提供、提案が行われている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
（1）地域への積極的な情報発信及び提案							
① サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信							
32	○ 運営推進会議の記録について、誰でも見ることができるような方法での情報発信が、迅速に行われている	7	8			・特になし	・議事録の閲覧可能。
		[具体的な状況・取組内容] ・運営推進会議翌日にミーティングにて情報を発信している。 ・議事録の保管、閲覧が可能になっている。					
33	○ サービスの概要や地域において果たす役割等について、正しい理解を広めるため、地域住民向けの積極的な啓発活動が行われている	1	7	7		・看多機をもっと知ってもらえるように、地域に発信していってほしい。 ・	・コロナ禍での活動について検討していく必要がある。
		[具体的な状況・取組内容] ・地域の病院や集まりでサービスについて説明する機会があり積極的に参加している。 ・地域と関わりをもつように心がけている。 ・ホームページでの閲覧が可能である。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・コロナ禍においてケアプラザでの地域の会に参加することができなかった。					
（2）医療ニーズの高い利用者の在宅での療養生活を支える、地域拠点としての機能の発揮							
① 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を含む、地域への訪問看護の積極的な提供							
34	○ 看護小規模多機能型居宅介護事業所の登録者以外を対象とした訪問看護を積極的に実施している	4	１１			・継続を希望。	・外部の依頼に対応している。
		[具体的な状況・取組内容] ・外部からの依頼に対応、処置のため訪問を行っている。					
② 医療ニーズの高い要介護者の積極的な受け入れ							
35	○ 「たん吸引」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	9	6			・継続を希望。 ・家族、利用者の安心感につながる。	・登録特定事業所として登録しており、受け入れ体制を整えている。
		[具体的な状況・取組内容] ・介護施設で喀痰吸引の研修修了者も多く従事しており積極的に受け入れている。 ・都度、順番に研修参加ができるような体制を整えている。					
36	○ 「人工呼吸器」を必要とす	1	9	5		・今後も体制維持を望む。	・受け入れ実績はないが、他事業所

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できている	おおよそ できている	あまりで きていない	全く できていない		
	る要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	[具体的な状況・取組内容] ・現在対象者はいないが、受け入れ体制はできている。 ・受け入れ体制はできているが、職員の技術・知識の統一が必要。					との情報共有にて体制の維持に努めている。
37	○ 「看取り支援」を必要とする要介護者を受け入れることができる体制が整っており、積極的に受け入れている	9	6			・家族にとって看多機の存在は心強いと思う。	・看多機としての役割を理解し、積極的に受け入れている。
		[具体的な状況・取組内容] ・受け入れ体制が整っており、積極的に受け入れている。					
(3) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画							
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解							
38	○ 管理者および職員が、行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について理解している	3	１２			・継続を望む。	・看多機としての役割を常に意識している。
		[具体的な状況・取組内容] ・看多機の地域での役割について考えながら取り組み支援している。 ・地域包括ケアについて意識して理解できるように努めている。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
② サービス提供における、（特定の建物等に限定しない）地域への展開							
39	○ サービスの提供エリアについて、特定の集合住宅等に限定せず、地域に対して積極的にサービスを提供している	6	9			・特になし	・金沢区全域
		[具体的な状況・取組内容] ・地域に対して積極的にサービス提供をしている。 ・対象地域以外の方へもサービス提供が行われている。					
③ 安心して暮らせるまちづくりに向けた、関係者等への積極的な課題提起、改善策の検討等							
40	○ 介護・看護の観点から、地域の関係者に対し、必要に応じて課題提起や改善策の提案等が行われている	1	１３	1		・特になし。	・コロナ禍において活動に制限があり提案には至っていない。
		[具体的な状況・取組内容] ・地域への議題や提案事項が現在ないため行っていないが、必要時は提案していく。 ・必要に応じた提案を行っている。 ・運営推進会議により取り組みが行われている。					
41	○ 家族等や近隣住民などに対し、その介護力の引き出しや向上のための具体的な取組等が行われている	3	8	4		・家族の介護力を把握することは大切。今後も継続して関わりを持ってほしい。	・介護力の把握に努め、必要時は自宅にて手技の指導を行っている。
		[具体的な状況・取組内容] ・家族に対しての取り組みはなされているが、近隣住民に対しては実施していない。					

番号	評価項目	事業所自己評価				運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
		よく できて いる	おおよそ できてい る	あまりで きていな い	全く できていな い		
		・送迎時間や訪問時、来所持等で一緒に関わりを持ち、介護力の引き出しをしている。 ・介護力の把握と介護者の不安要素について情報収集し、不安なく介護ができるように支援に努めている。					

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
Ⅲ　結果評価				
① 計画目標の達成				
42	○ サービスの導入により、利用者ごとの計画目標が達成されている	1．ほぼ全ての利用者について、達成されている（９名） 2．利用者の2/3くらいについて、達成されている（５名） 3．利用者の1/3くらいについて、達成されている（１名） 4．利用者の1/3には満たない **[具体的な状況・取組内容]** ・本人、家族の希望に寄り添っている。 ・看護計画の評価をし、利用者・家族の状況を踏まえ修正し達成できるように努めていく。 ・達成できるよう目標を心がけ計画を立てている。	・継続を希望。	✓ 「計画目標の達成」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
② 在宅での療養生活の継続に対する安心感				
43	○ サービスの導入により、利用者およびその家族等において、医療が必要な状況下においての在宅での療養生活の継続に対し、安心感が得られている	1．ほぼ全ての利用者について、達成されている（11 名） 2．利用者の2/3くらいについて、達成されている（3 名） 3．利用者の1/3くらいについて、達成されている（1 名） 4．利用者の1/3には満たない **[具体的な状況・取組内容]** ・自宅で困った事や急変に対して 24 時間連絡がとれる体制となっていて必要時は訪問している。 ・サービス提供により贅沢生活が維持できている。	・即対応してもらえるのは心強い。今後も継続をお願いしたい。	✓ 在宅での看取りを除く、全ての利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「医療が必要な状況下においての、在宅での療養生活の継続に対する安心感」について、評価します

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足
44	○ サービスの導入により、在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等において、在宅での看取りに対する安心感が得られている	1．ほぼ全ての利用者について、達成されている（12 名） 2．利用者の2/3くらいについて、達成されている（3 名） 3．利用者の1/3くらいについて、達成されている 4．利用者の1/3には満たない 5．看取りの希望者はいない **[具体的な状況・取組内容]** ・家族との連絡を密に行っている。 ・体調不良時急変時の体制が整っている。 ・本人・家族の想いに寄り添い看取り支援を行っている。 ・看取りを希望される家族には最期のといまで安心して一緒に過ごせるよう支援を行っている。 ・利用者、家族の想いに対応しながら安心感がえられるように支援している。	・全体的によく行っていると思う。	✓ 在宅での看取りを希望する利用者およびその家族等に対し、サービスの提供により実現された「在宅での看取りに対する安心感」について、評価します ✓ 在宅での看取りは、事業所内（通い・泊まり）での看取りを含みます ✓ 在宅での看取りの希望者がいない場合は、「5．看取りの希望者はいない」

番号	評価項目	事業所自己評価	運営推進会議における評価 コメント記入欄	評価の視点・ 評価にあたっての補足